

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都豊島区駒込 2-2-3
園名	駒込第三保育園
法人	社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団

令和6年 12月 18日 5歳児

1. 活動のテーマ

<テーマ>

【自然】

<テーマの設定理由>

・都心にありながら広い園庭があり、子ども達も日々自然と植物や昆虫等に関わる姿が多く見られる。日々何気なく触れている【自然】をテーマにし、再度子ども達に自然とは何か？を問いかけ再考し、普段見ている視点を変え、機器を用いて拡大してみることでなぜそのような形になったか？等自然への興味・関心をさらに深めて、発見を楽しめるようにしていきたい。

2. 活動スケジュール

- ・10.11月➡身近な(園庭)自然を採取・観察し絵に描いてみる。
- ・12～2月➡マイクロスコープで肉眼で観察した時との違いを意識し再度絵に描いてみる
- ・2.3月➡マイクロスコープで観察して気づいた事を発表する。(5歳児)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・iPad 6台
- ・マイクロスコープ 6台
- ・図鑑(草花・虫・石)各6冊ずつ

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・前回の振り返りを子ども達と行う
- ・顕微鏡について知る
- ・園庭にでて自分が観察したいものを探索
- ・グループごとに顕微鏡で観察・iPad に画像を記録する
- ・記録したものを TV に映し皆で見る

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・「虫も顕微鏡で見れるのかな？」
- ・「緑の葉っぱの端っこよく見ると、赤い線が入ってる」
- ・「だんごむしの足ってギザギザしてる」
- ・「葉っぱの模様って顕微鏡で見るとすごいきれいなんだね」
- ・「太陽の光があると、色が変わるよ」



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・顕微鏡を使用したことで、肉眼では見られない細部を観察することが出来た。そのことにより、最初に肉眼で見た時よりも、色や形の違い・模様に着目する姿が多く見られ子ども達の自然物に対する見る目が変わったと感じる。自分から図鑑を取り出し調べ始めたり、「どうやってこんな色になるんだろう？」と子ども達から【知りたい！】という意欲的な姿が増えてきた。